

小林俊介展

色の重なりから生まれるもの

2010年

3月11日〔木〕—4月18日〔日〕

休館日／3月15日〔月〕・23〔火〕・29〔月〕・4月5〔月〕・12〔月〕

開場時間／9時～17時（4月以降は、19時まで）

観覧料／一般200円

高校生以下無料

主催／白鷹町文化交流センターあゆーむ事業企画委員会

問合せ／0238-85-9071

小林俊介展

色の重なりから生まれるもの

小林俊介は、必ずしも視覚的でない「気配」や「きざし」をテーマとして取り組む抽象画家です。このようなものを描くために、小林はテンペラと油彩の混合技法を用いています。

透明・半透明なテンペラ絵具(顔料と卵と油で作る)と油絵具を何層も薄く塗り重ねて得られる半透明な層は、光が表面で遮られる不透明な絵具層とは異なり、光が内側に入っていくような奥行きがあります。こうした奥行きに対して鑑賞者の視点が動くことにより、今まで見えていなかったものが生まれるのです。

本展では小林の新作を中心に近年の作品を紹介するとともに、山形県白鷹町の風土を感じさせるインスタレーションとして、深山和紙(同町の伝統的工芸品)を使った作品なども展示いたします。「見えるもの 見えないもの」を感じるまたとない機会となることでしょう。

※会期中、一部展示替えがございます。

関連イベント

アーティストトーク

小林俊介が、自身の作品について語ります。
日時／3月13日(土)・4月11日(日) 14:00~15:00
料金／無料(ただし、当日の観覧券が必要)
会場／ギャラリー1

ワークショップ

「にじみ絵であそぼう」
絵具を画用紙にじませたら、どんな絵ができるかな? 描いて楽しい、見て楽しい体験講座。
日時／3月22日(月・祝) 14:00~15:00
講師／小林俊介 料金／200円
会場／文化伝承室 定員／20名
対象／3歳以上(小学生未満保護者同伴)
※大人のみでもご参加可。
申込／あゆーむまでお申し込み下さい。



1



2



3



4

小林俊介(1966ー)

東京生まれ。筑波大学大学院博士課程芸術学研究科修了。1997年より山形大学に勤務、現在同大学准教授。VOCA展(上野の森美術館、1997,2004)、絵画の行方ー現代美術の美しさって何?(府中市美術館、2005)などに出演。

1. 《08-04p》2008年
2. 《03-35bl》2003年
3. 《05-41y》2005年
4. 《08-03 (blue-gray on violet)》2008年

※素材はすべて綿キャンパスにテンペラ・油彩

白鷹町文化交流センター AYU:M (あゆーむ)

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町鮎貝仮換地24街区1番
TEL.0238-85-9071 FAX.0238-85-9072 E-mail. shirataka@ayu-m.jp URL. <http://www.ayu-m.jp/>
<アクセス> お車でお越しの場合／山形市より国道348号線で約35分
赤湯駅より／山形鉄道 フラワー長井線(荒砥行き)で「四季の郷駅」下車(赤湯駅から約50分)徒歩約4分

